

ごみ減量 もったいない! MOTTAINAI かわらばん

第 29 号

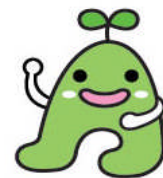
平成 24 年 1 月 30 日

発行

秋田市環境部環境都市推進課 〒011-0904 秋田市寺内蛭根三丁目24-3
電話：866-2943 FAX：863-6683 E-mail：ro-evcp@city.akita.akita.jp
秋田市HP <http://www.city.akita.akita.jp/> くらし ごみ・リサイクル・環境 秋田市環境部HP

集団回収を始めませんか!

平成23年度も残すところあと2か月余り。減量目標達成には厳しい状況ですが、最後まで、ごみ減量へ市民のみなさんのご協力をよろしくお願いします。
さて、今回は資源集団回収についてご紹介



秋田市ごみ減量キャラクター エコアちゃん

これまでの経緯

資源集団回収は、昭和43年頃から行われていた「ごみ減量運動」が、その後の経済発展とともに急激に増加してきた多種多様のごみに対応して、「ごみ減量と有価物の回収運動」として全国的に展開されてきました。市としても昭和49年に入り、関係する各種団体に協力を呼びかけ、積極的に体制づくりを図り、昭和53年度に「資源集団回収推進協議会」を設立して継続的実施体制を確立したのが始まりとなっています。
その後、平成元年度からは「資源集団回収奨励金制度」を設け、さらなるごみの減量と分別の徹底、資源の再利用など、ごみ処理等に関する市民の意識を深めながら、集団回収

運動に対する意識高揚を図ってきています。

資源集団回収とは、

資源集団回収とは、みなさんほどのようなイメージをお持ちでしょうか。

以前は、廃品回収として、子ども会などが中心となつて、夏休みなどにリヤカー等を引きながら自分たちの町内の各家々を回り、一升びんや新聞紙などを集め、売却した代金を活動費などに有効に活用したことを思い出します。

地域の住民が自主的に資源化物を回収する集団回収は、市民の環境配慮意識の醸成と向上、併せて資源化物の適正分別によるごみ減量とリサ

イクルの推進を図ることを目的としています。また、ごみ減量・分別井戸端会議を開催するなどして、団体の活動を通じ、ごみ減量や資源循環型社会に向けた意識の向上を図っています。

実施方法

実施団体は、子ども会、町内会、婦人会、老人クラブ、学校およびPTAなどの各種市民団体で、あらかじめ市に登録が必要です。

回収品目は、空きびん類、金属類（空き缶）、古紙類（新聞、ダンボール、雑誌・雑がみ、紙パック）、古繊維類、その他の有価物（P箱）となっています。

具体的な実施方法は、市に届出のある資源集団回収届出業者の中から回収業者を決め、実施日や回収する品目、集める場所、を業者と十分に打合せをします。

特に、実施日は、市が月2回行っている資源化物の



【集団回収の様子】市のホームページから

裏面へ

回収との混同を避けるため市の収集日以外の日に実施することや、集める場所は、集積所以外の資源を集めやすい広い場所にする、回収品目をどうするか、など事前に決めて実施していただきます。

奨励金の交付申請については、毎年12月頃、各団体の代表者へ書類を送付します。【対象は、年間（1月から12月まで）2回以上実施した団体】

平成24年度の奨励金単価については、家庭ごみの中の紙類、特に雑誌・雑がみの減量を推進し回収促進を図るため、7月からの家庭ごみ有料化の併用施策として、増額する方向で見直しを検討しています。また、今後も資源集団回収事業の拡充を図り、限りある資源の有効活用と、さらなるごみ減量の啓発を行うっていくこととしています。

町内会や各種団体のみなさん、地域でのコミュニケーションづくりなどのためにも、資源集団回収事業を活用してみても。

問い合わせは、環境都市推進課まで。

混ぜればごみ！分ければ資源！

担当から
ひと言

よろしくお願ひします！！

資源集団回収推進事業を担当しています。

資源集団回収は、ごみの減量はもちろんのこと、何と云っても、ものを大切にすることを育み、地域の絆づくりを目的に実施しています。

年が明けた1月・2月は、奨励金の申請を受付、金額の確定作業をしています。実績は、回収量、奨励金額ともに、残念ながら平成22年実績を下回りそうです。

3月中旬の交付に向け概ね順調に進んでいます。

今後はさらに集団回収の推奨・拡大を図り、ごみ減量の啓発に取り組んでいきますのでよろしくお願ひします。

家庭系生ごみ減量モニタリング事業を担当しています。

このモニタリング事業は、家庭ごみの約半分を占める生ごみの減量を進めるために行っているもので、広く市民のみなさんから募集した「生ごみ減量モニター」に、市が処理機器を無償で貸し出しして、生ごみ減量の効果を調査するものです。

モニターのみなさんから毎月寄せられる報告書を集計する中、生ごみ減量に取り組む中で、生ごみ以外の減量にも家族で取り組むようになったとの感想には本当に励まされました。

家庭ごみの減量には欠かすことのできない生ごみの減量。みなさんもぎゅっとひとしぼりからスタートしませんか。

知ってる!?
ごみ発電のおはなし



秋田市ごみ減量キャラクター
エコアちゃんファミリー

秋田市総合環境センターでは、ごみを燃やした熱で発電を行い、余剰電力を売却しています。

平成23年12月の状況

発電電力量	4,006 MWh
売却電力量	1,733 MWh
売却収入	1,420 万円
売却収入(4月からの累計)	1.52 億円

12月は、前年同月と比較して、発電量が1,193MWhの増加(42.4%増)、売却電力量が1,013MWhの増加(140.6%増)でした。

ごみ発電についてのお問い合わせは総合環境センターまで
電話839-4816